

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
審査委員会 受付番号	2017-1006	利用するもの	情報:2KJPNおよび調査票情報(年齢、性別、既往歴家族歴等)		
主たる研究機関	滋賀医科大学		分担 研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	
研究題目	遺伝性循環器疾患患者群と健常人コホートにおける遺伝子多型の比較研究		研究期間	承認日 ~ 平成33年3月31日	
実施責任者	大野 聖子	所属	滋賀医科大学アジア疫学研究センター	職位	特任講師
研究目的と意義	<p>一般住民コホートの遺伝情報と比較し、遺伝性不整脈および心筋症の遺伝子解析研究で同定された変異が疾患と関連しているかどうか、明らかにする。</p> <p>疾患と関連した遺伝子変異を同定することで、病態解明・治療に役立てることができる。</p>				
研究計画概要	<p>滋賀医科大学が保有する既存研究「次世代シーケンサーを用いた家族性不整脈症候群の遺伝子解析(承認番号23-128-3)」及び「心筋症患者の原因遺伝子解析(承認番号25-167)」の対象者の解析結果で作成したデータベースを利用し、遺伝子多型と発症との関係を探る。対照群として、統合データベースdbTMMのデータを用いる。対照群のデータはToMMoにあり、VPN回線を用いてToMMo内の解析コンピュータをシンクライアント端末より遠隔操作し、必要な解析を行い集計表の形で利用する。</p> <p>ケースデータは滋賀医科大学のサーバーからVPNに移動させない。対照群のデータは東北大学のスーパーコンピュータの、共同研究用に割り当てられた区画に保管され、その中で必要な統計解析を行い集計表の形にしたのちに滋賀医科大学にて必要な統計処理を行う。</p>				
期待される成果	<p>遺伝性疾患患者で同定され、疾患との関連が明らかにされていない遺伝子変異および多型について、dbTMMのデータと比較することで、その病原性が明らかにできる。</p>				
これまでの倫理 審査等の経過お よび主な議論	滋賀医科大学倫理委員会承認済(29-005)				
倫理面、セキュリ ティー面への配慮	滋賀医科大学のデータベースおよびdbTMMのデータはすべて個人が特定できない形式で保存されている。セキュリティーについては、生体認証可能な部屋での取り扱いを原則とする。				
その他特記事項					
* 公開日	平成29年10月18日				